

## 第4回 介護・医療連携推進会議 議事録

24hケアステーションこはま

書記：長谷川

開催日時：平成28年9月29日（木）14時～15時半

開催場所：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 会議室

出席者：宝塚市医師会様、小浜自治会長様、民生児童委員様、宝塚市介護保険課様、  
小浜地域包括支援センター所長様  
事業所管理者 他1名

欠席者：在宅サービス課課長、ご家族様

### 議題内容

#### 1、 事業内容

- ・6月～9月にかけて定期巡回の利用者増えてきている。同じケアマネジャーから新たな利用者様の依頼もあった。
- ・室温管理、水分補給の確保等こまめに訪問する事によって、夏場の脱水は予防できた。その日の様子により、柔軟に対応が出来た。
- ・定期巡回を利用されている方の介護度は全国的に1・2の方が多いが、24hケアステーションこはまでは、4・5の方が多く重度の方のご利用が多い。
- ・随時対応では、利用者の家族より排便があったので処理をして欲しいとの連絡が入り対応しているケースが多い。
- ・8月から利用開始になった利用者（右岸の在住の利用者で、以前同法人のヘルパー利用歴あり。右岸定期巡回事業所も対応困難の為、利用となる）で、退院によるサービス開始となったケースであるが、在宅に戻ることによって入院時より表情も良くなり、言葉数も増え活気が出てきているケースもある。
- ・右岸の定期巡回は6月から開始。現在11名利用中で、健闘している。

#### 2、 自己評価の報告

- I-5 毎週月・金に朝礼・申し送りを行っていたが、密に情報交換・連携を図る為、毎日に変更。 合同カンファは3ヵ月に1回開催。（次回10/6 テーマ『定期巡回の基礎』について）
- I-6 ケアの時間帯が集中し、ヘルパー業務の兼務もあり人員配置が難しくなっている。
- I-7 7月に民生委員の方々にご挨拶し、意見をいただく。
- I-9 交通安全については、公社で勉強会実施。
- I-18 インスリンの針刺し事故（ヘルパーがインレットの針を捨てる時に針が抜けて刺さってしまう）の対応、ヘルパー研修にてインスリン・インレットの使用方法や感染対策の勉強会を実施。
- I-22 介護・看護間でのケアの見直し調整を実施している。ケアマネジャーに報告が出来ていないことがあり、事後報告になっていることが多い。

### 3、 外部評価・質疑応答

☆医師より、

- ・インスリンで使用した針は素手で触らないようにしてください。  
→針刺事故のマニュアル・在宅専用のマニュアルも検討中。
- ・近年、施設利用をされる方々が増えているが、長く住み慣れた環境・お家で過ごすことが理想。在宅に戻る事によって表情が良くなったケースもたくさんある。今後在宅でも安心して過ごせるようにこのような（定期巡回）サービスがあるということをもっとアピールする必要があると思う。

☆自治会長様より

- ・定期巡回の利用負担額が大きくないか？  
→理想と現実には厳しい状況。金額だけを見れば高額と感じるだろうが、柔軟な訪問調整や内容変更ができる。随時訪問対応等で、安心を得られるメリットもアピールしていきたい。施設入所等の料金よりは安価だと思います。

☆事業所より

今後のPRに向けて

- ・10月より、ヘルパーの人員が増えるので、新規利用者の確保に向け、公社外の居宅事業所のケアマネに周知活動実施予定。ただ、弊事業所の受け入れにも限界があり、同サービスを行っている事業所は右岸に1つしかなく、必要な方にサービス提供ができなくなっている。
- ・宝塚市の方で、今後の定期巡回の拡大の予定はあるのか？  
介護保険課担当者様→今のところは、まだ検討中。

次回開催予定日

平成28年12月22日（木） 15時半～ 16時半